

令和7年度 公共事業再評価調査

(区分) 国補・県単

1. 事業説明シート

事業名		治水事業〔基幹河川改修事業（国補）〕		事業箇所	甲府市城東～相生	地区名	濁川	事業主体	山梨県
計画期間	当初計画	現計画	変更計画	④特記事項（関連事業概要等） ・緊急街路整備事業 都市計画道路和戸町竜王線					
	H22～R6	H22～R11	—						
総事業費	5,200 百万円	5,270 百万円	— 百万円						
①事業の概要									
①事業目的及び効果 甲府市を流れる濁川の城東～相生地区は、計画流量43m ³ /sに対して現況の 流下能力は12m ³ /s（約30％）程度と河道が狭小で、かつ流路が屈曲している ことから洪水被害を繰り返してきた経過があり、治水安全度の向上を図る必要が ある。また、同時期に甲府市が同区間に隣接した都市計画道路和戸町竜王線の事 業を実施しており、相互に関連する事業であることから、事業間の連携を図って いく必要がある。									
□主要目標 ○洪水被害の防止 改修目標流量に対する現況流下能力の割合：0.3< 0.4※以下 浸水被害又は水防活動の実績：有 想定氾濫区域内における災害発生時の影響：有 ※評価基準値									
□副次目標 ○なし □副次効果 ○被災時の被害波及の防止、他事業との一体的施工									
②事業概要 甲府市城東～相生地区において、河積の拡大・バイパス水路整備による流下 能力の向上 全体計画施工延長 L=1,635m 治水安全度 12m ³ /s（1/2.4）→43m ³ /s（1/50）									
③全体計画									
		令和6年度まで	令和7年度 （評価実施年度）	令和8年度以降					
現 計 画	工事 内容	測量試験：1式 用地補償：1式 物件補償：1式 護岸工 道路橋：1橋	用地補償：1式 物件補償：1式 護岸工	用地補償：1式 物件補償：1式 護岸工 サイフォン工 道路橋：2橋					
	事業費	1,370 百万円	230 百万円	3,670 百万円					
変 更 計 画	工事 内容	測量試験：1式 用地補償：1式 物件補償：1式 護岸工 道路橋：1橋	用地補償：1式 物件補償：1式 護岸工	用地補償：1式 物件補償：1式 護岸工 サイフォン工 道路橋：2橋					
	事業費	1,755 百万円	30 百万円	3,485 百万円					

※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。

⑤これまでの評価状況（令和2年度再評価）
事業実施にあたっては、時間管理を徹底し、見直し案のとおり
令和11年度の完成に努められたい。

②事業位置図等

2.評価シート（1）

（1）事業を巡る社会経済情勢等の変化

（今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容）

①地域・住民の意向状況

変化なし

②産業・経済情勢

労務費・建設資材費の上昇

③国等の方針

変化なし

④上位計画・関連事業計画等

- ・「山梨県総合計画」（令和5年10月改訂）
- ・「山梨県強靱化計画」（令和6年3月改定）
- ・「山梨県社会資本整備重点計画（第四次）」（令和4年9月改定）

⑤自然環境条件等

変化なし

⑥その他

なし

（2）評価時点の費用対効果分析

項 目		着手時点	R2再評価時点	変更計画時点
総事業費		5,200 百万円	5,270 百万円	5,270 百万円
工 期		H22～R6	H22～R11	H22～R11
経 済 効 率 性	評価基準年	H21	R2	R7
	費用	3,460 百万円	4,698 百万円	5,698 百万円
	建設費	3,440 百万円	4,300 百万円	5,214 百万円
	維持管理費	20 百万円	398 百万円	484 百万円
	便益	37,210 百万円	48,379 百万円	41,648 百万円
	一般資産被害 防止額	34,055 百万円	17,132 百万円	21,915 百万円
	公共土木施設 等被害防止額		29,034 百万円	16,262 百万円
	その他※	3,155 百万円	2,213 百万円	3,471 百万円
B／C		10.8	10.3	7.3

費用便益分析マニュアルにより算出 採択基準値1.0以上

費用便益比（B/C）は1.0を超えており、経済効率性は確保されている。

※その他は、間接被害防止便益

※一般資産被害防止額と公共土木施設等被害防止額の便益比の差については、
治水経済マニュアルの変更による。

（3）これまでの計画変更等の概要

（令和2年度）

事業計画箇所最下流部にあたる河道改修区間において、起業予定地のうち
約半分を占める筆界未定地の解消に時間を要したことによる事業期間の見直し及
び用地補償費の増額による事業費の見直し。

- ・完成年度 令和6年度 → 令和11年度
- ・事業費 5,200百万円 → 5,270百万円

2.評価シート（2）

（4）事業進捗状況及び見込み

①進捗率

別表のとおり。

R7年度進捗率（現計画）30.4%→（実績）33.9%→（変更計画）33.9%

②進捗率実績が計画と相違している理由

なし

③総事業費の変更内容

変更工種等	事業費増減	変更理由
	百万円 増減	
	百万円 増減	
合 計		

④事業期間の変更理由及び進捗予定

なし

⑤今後の事業執行における留意点

関連する都市計画道路事業との調整を図りながら、事業工程の管理を徹底し、進捗を図る。

（5）環境負荷等への配慮

なし

（6）コスト削減の可能性

なし

（7）代替案立案の可能性

なし

（8）所管部の今後の方針

（理由）

令和2年度の計画の通り進捗しており、計画どおり令和11年度の完成を目指す。

○別表-進捗率（事業費ベース）

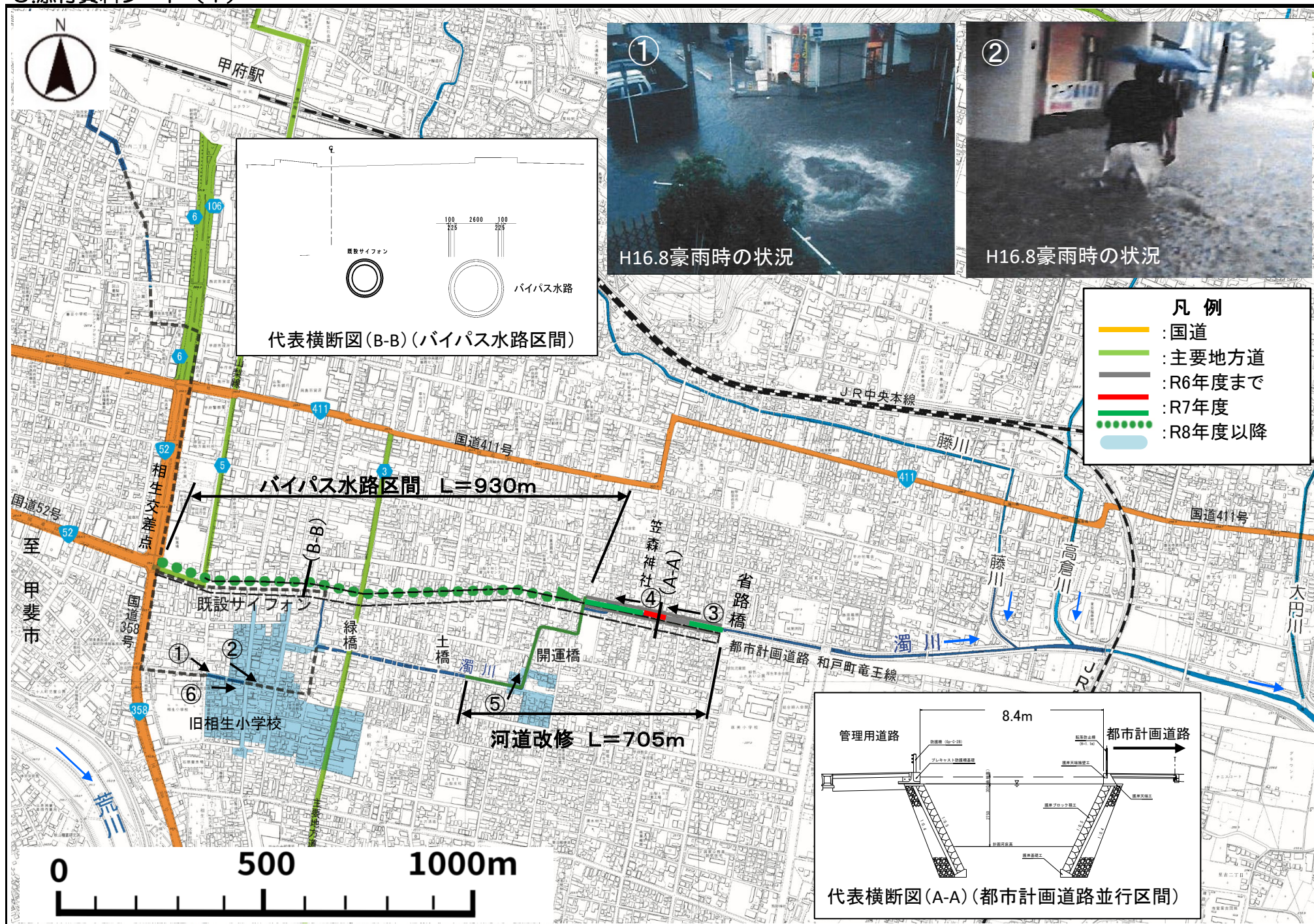
算出方法：【上段】現計画の計画事業費／総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費／総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費／総事業費×100 単位：％

	年度	*H22	～	H25	～	H28	～	H31	*R2	R3	R4	R5	R6	*R7	R8	R9	R10	R11
現	計画	0.6	～	1.3	～	3.1	～	11.9	12.6	15.5	18.9	22.2	26.0	30.4				
	実績	0.6	～	1.3	～	3.1	～	11.9	13.2	14.1	19.1	24.4	33.3	33.9				
	変更計画													33.9	35.9	58.8	80.2	100

*事業着手年度又は評価年度

*R7年度の実績は見込み

3. 添付資料シート（1）



3. 添付資料シート（2）

③ 省路橋上流付近



④ 笠森神社付近屈曲部



⑤ 開運橋上流屈曲部



⑥ 平和通り東側の開渠区間



4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
H22	30,000	測量、設計、調査	0.6%
H23	10,000	測量、設計、調査	0.8%
H24	10,000	測量、設計、調査	0.9%
H25	20,000	測量、設計、調査	1.3%
H26	10,000	測量、設計、調査	1.5%
H27	40,000	測量、設計、調査	2.3%
H28	40,000	用地、補償	3.0%
H29	40,000	用地、補償	3.8%
H30	365,000	用地、補償	10.7%
H31	60,000	用地、補償	11.9%
R2	70,000	用地、補償	13.2%
R3	50,000	用地、補償、護岸工	14.1%
R4	260,000	用地、補償、護岸工	19.1%
R5	280,000	用地、補償、護岸工、道路橋	24.4%
R6	470,000	用地、補償、護岸工、道路橋	33.3%
R7	30,000	用地、補償、護岸工	33.9%
R8	90,000	用地、補償、護岸工、道路橋	35.6%
R9	1,225,000	護岸工、道路橋、サイフォン工	58.8%
R10	1,125,000	護岸工、道路橋、サイフォン工	80.2%
R11	1,045,000	護岸工、サイフォン工	100.0%
合計	5,270,000		